

# 競技上の注意

## 競技全体

1. 試合は現行の日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブックによって行います。
2. コート割は進行表によりますが、変更することもあります。
3. マッチ開始前の練習は行いませんので、アップは各自でやっておいてください。
4. 選手へのコーチングは、チェンジサイズ及びファイナルゲーム前のみで、移動時間を含めて1分以内とします。厳守してください。
5. ベンチ並びに応援は、団体・個人ともに、番号の若い方のチームが本部スタンド側、後番号のチームはその反対側とします。
6. マッチ中は互いにマナーを守ってプレーしてください。マッチ終了後は握手でお互いの健闘をたたえてください。
7. 生徒が審判をすることになりますので、プレーヤー、監督・コーチ、並びに応援者は、審判の判断を左右するような言動はしないように心掛けてください。
8. イエローカードを出さなければならない状況が起きた場合、本部で指導することとします。
9. 服装・ソックス等は監督、選手ともに服装規定にしたがってください。
10. 使用球は、公認球（本部指定）とします。
11. 選手変更については本部へ申し出て必ず承認を得てください。
12. ボールを使った練習は、サブコートのクレークコートのみとします。譲り合って使用してください。

## 団体戦

1. 競技は5ゲームマッチとします。（進行状況により上位戦を7ゲームマッチで行うこともあります。）
2. 勝敗は2点先取としますが、対戦2チームとも、またはどちらかのチームが初戦である場合、勝敗に関係なく3組とも試合を行います。
3. 受付時にチーム番号札とオーダー用紙を受け取ってください。
4. オーダーはコート上で交換します。若い番号のチームの監督が進行の司会をしてください。
5. 試合終了後、勝った方のチームが採点用紙を本部に提出し、次の試合の採点用紙をコートに持って行ってください。
6. 後番号のチームは得点板に点数等を入れてください。
7. 審判は相互審判とします。キャプテンがジャンケンをして、勝った方が1、3番、負けた方が2番の正審をし、副審は、その反対とします。
8. サービス（レシーブ）とサイドの選択は司会者立ち会いのもと、あいさつの際に3組とも行ってください。
9. 進行状況によっては2面展開で試合を行うこともあります。
10. ベンチ入りの人数は、選手4組以内、監督1人、コーチ1人の範囲です。
11. 対戦中は、監督・コーチ・選手はベンチに座って待機し、ジャッジ等に対する質問・確認は監督またはプレーヤーのみができますが、試合進行の妨げにならないようにしてください。

## 個人戦

1. 競技は5ゲームマッチとします。（進行状況により上位戦を7ゲームマッチで行うこともあります。）
2. 次の試合の番号の若いペアは、前の試合が始まった時点で本部まで採点用紙を取りに来てください。その後、試合が行われるコート付近で待機し、準備をしてみてください。後番号のペアも同様です。
3. 審判は、初戦は指定されたペアにしてもらいますが、2戦目以降は敗者審判とします。
4. サービス（レシーブ）とサイドの選択は審判立ち会いのもと、あいさつの際に行ってください。
5. ベンチ入りできるのは、監督かコーチのいずれか1人、その他にスコアラーもしくはポールパーソンとして生徒1人のあわせて2人です。
6. ジャッジ等に対する質問・確認はプレーヤーのみができます。
7. 試合が終わったら、勝ったチームが採点用紙を本部に提出し、負けたチームはコートから動かずにいてください。コーチングは審判が終わってからにしてください。
8. 集団応援は禁止です。

## その他の注意事項

1. 自分の持ち物は各自で保管してください。
2. 本部管理棟・スタンドで場所確保のためなどのブルーシート及びテントの設置は禁止とします。
3. 昼食時間はとりませんので、各自、適当な時間にとってください。なお、弁当を注文した場合、食べ殻は指定された時間までに、指定された場所に出してください。時間に遅れた場合は持ち帰りです。トンビに注意してください。
4. ゴミは持ち帰りです。
5. 帰るときは、必ずゴミ・荷物を確認し、忘れ物がないように注意してください。
6. 開始式・開会式のあと時間をとりますので、生徒に以上のことを徹底してください。